



広島工業大

大学院1年

手島慶祐



広島工業大（広島市佐伯区）で、献血があった。一部の授業が対面授業に戻っていたこともあり、参加人数は例年通りの100人だった。

血液は長期保存ができず、「赤血球」は採血後21日間しか使えないという。また、献血者の健康を守るため、1年間に献血できる回数や量には上限もある。そのため、血液は常に供給されないと不足してしまう。多くの人が献血に協力して救える命が増えればいいと思った。

機械システム工学科3年の上田雄大さん(21)は「今回が6回目の献血。赤十字の職員の連携の取れたチームワークが素晴らしい」と話していた。



献血に協力する学生